

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	復旧治山事業		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	8	元気で豊かな農林水産業を育てる
	施策	(4)	地域の活力と魅力にあふれる農山村づくり
	事業群	②	農山村地域の暮らしを支える環境整備①

作成年月日	令和元年 11月 27日		
事業所管	農林部 治山班	森林整備 (内線)	室 5415
課(室)長名	永田 明広		

1. 事業の概要

事業概要	<事業の主な実施内容>												
	荒廃山地における治山ダム、法枠工等の治山施設の整備。												
	<国の主な採択基準>												
	①1、2級河川上流 ②その他の河川又は地区で、次の各号のいずれかに該当 1) 既実施の災害関連緊急事業と同一区域内で一体的に実施する必要があるもの 2) 市街地又は集落(人家10戸以上)の保護 3) 主要公共施設の保護 4) 農地(10ha以上)、ため池(貯水量3万m ³ 以上)、用排水施設(関係面積100ha以上)又は漁場(受益戸数20以上) ③工事規模 全体計画 7,000万円以上												
	<負担区分> (%)	<table border="1"> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>地元</th> </tr> <tr> <td>50</td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>45</td> <td></td> </tr> </table>	国	県	地元	50	50		55	45		<県費の継ぎ足し> (通常) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (火山)	
国	県	地元											
50	50												
55	45												

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の要望が高く、災害の早期復旧・未然防止が図られること。 ・投資効果が見込まれること。 ・計画内容、施設規模が経済的な計画となっていること。 ・関係機関との協議・調整が整っていること。
---------	---

3. 令和2年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	城山台(しろやまだい)	長崎市
2	大音琴(おおねごと)	東彼杵町
3	木場(こば)	川棚町
4	河内(かわち)	対馬市
5	豊(とよ)	対馬市
6	津柳(つやなぎ)	対馬市
7	阿連(あれ)	対馬市
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

令和2年度新規要求箇所評価調書(復旧治山事業)

<様式2>

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業主体	事業完了予定	事業概要 (上段:全体、下段:R2)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R2)				新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等		総合評価	
					事業費	国費	県費						市町村費等
							県債	一般財源					
(しろやまだい) 城山台	長崎市	県	R3	全体計画:谷止工2基 1,100m3 保全対象:…人家40戸、県道900m	70,000	38,500	28,300	3,200	当地区は、荒廃した溪流で下流域には住宅地・県道がある。H30年9月に地権者より要望を受け現地の調査を実施したところ不安定土砂の堆積や、溪岸侵食が確認された。今後の豪雨により土石流が発生する恐れがあるため、早急な対策が必要である。	現地調査の結果について地元へ報告したところ、早期の事業実施について要望があり、今年度中に長崎市長から施工願が提出される予定である。		A	
				R2年度計画:谷止工1基、測量設計1.0式	30,000	16,500	12,100	1,400					
				費用便益比	B/C=14.42>1.00		負担割合	国:県:地元=55%:45%:00%					
(おおねごと) 大音琴	東彼杵町	県	R4	全体計画:谷止工3基 1,400m3 保全対象:…人家33戸、国道300m、鉄道300m、消防署、田15ha	120,000	66,000	48,600	5,400	当地区は、荒廃した溪流で下流域には田・住宅地・国道がある。H30年7月の豪雨により溪流内の不安定な土石が田及び農道に流出した。溪流の荒廃が激しく、今後の豪雨により土石流が発生する恐れがあるため、早急な対策が必要である。	地元から早期の事業実施について要望があり、今年度中に東彼杵町長から施工願が提出される予定である。		A	
				R2年度計画:谷止工1基、測量設計1.0式	40,000	22,000	16,200	1,800					
				費用便益比	B/C=7.24>1.00		負担割合	国:県:地元=55%:45%:00%					
(こば) 木場	川棚町	県	R4	全体計画:谷止工3基 1,600m3 保全対象:…人家10戸、県道800m、林道100m	120,000	66,000	48,600	5,400	当地区は、荒廃が進んでいた溪流であり平成5年度には床固工・土留工を施工している。H30年7月の豪雨により溪流内の不安定な土石が林道に流出した。溪流の荒廃が激しく、今後の豪雨により土石流が発生する恐れがあるため、早急な対策が必要である。	地元から早期の事業実施について要望があり、今年度中に川棚町長から施工願が提出される予定である。		A	
				R2年度計画:谷止工1基、測量設計1.0式	40,000	22,000	16,200	1,800					
				費用便益比	B/C=2.60>1.00		負担割合	国:県:地元=55%:45%:00%					
(かわち) 河内	対馬市 上対馬町	県	R6	全体計画:谷止工6基、流路工420m、測量設計1式 保全対象:人家13戸、国道170m、市道1,200m	220,000	110,000	99,000	11,000	・当地区は対馬市上対馬町河内集落の上流に位置し、近年の集中豪雨により山地の溪流から土石・泥流が流出した。上流部については、溪岸侵食が著しく進行し、近年、度々土砂が下流へ流出し、毎年、河川を浚渫する費用がかさみ対馬市の財政を圧迫している。さらに今後の豪雨によっては住民の生命財産に被害を及ぼす恐れが高いことから早急な対策が必要である。	市及び地元から早期の事業実施について要望があっており、平成30年度に対馬市長から施工願が提出されている。		A	
				R2年度計画:谷止工 1基、測量設計1.0式	40,000	20,000	18,000	2,000					
				費用便益比	B/C=1.37>1.00		負担割合	国:県:地元=50%:50%:0%					

令和2年度新規要求箇所評価調書(復旧治山事業)

<様式2>

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業主体	事業完了予定	事業概要 (上段:全体、下段:R2)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R2)				新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合評価	
					事業費	国費	県費					市町村費等
							県債	一般財源				
とよ 豊	対馬市 上対馬町	県	R6	全体計画:法枠工3,500m ² 、測量試験1.0式 保全対象:人家30戸、県道200m、公民館、 消防分署	190,000	95,000	85,500	9,500	当該地区では今年5月に人家裏で落石が発生した。 幸いにも人家及び人的被害はなかったが、 山腹斜面には依然として不安定な状態で岩塊 が残置しており、そのまま放置すれば下方人 家等へ甚大な被害を与える恐れが非常に高い ため、早急に対策工事を実施する必要がある。 費用便益比 B/C=3.62>1.00	対馬市及び地元は早期の事業実施を強く 要望しており、今年度中に対馬市長から 施工願が提出される予定である。 負担割合 国:県:地元=50%:50%:00%	A	
				R2年度計画:測量試験1.0式、法枠工700m ²	50,000	25,000	22,500	2,500				
				合計				1,050,000				540,500
				295,000	153,000	127,700	14,300					
つやなぎ 津柳	対馬市 峰町	県	R6	全体計画:治山ダム工1基、法枠工3,000m ² 、 測量試験1.0式 保全対象:人家9戸、市道280m、集会所、 消防格納庫	140,000	70,000	63,000	7,000	当該地区ではこれまでも治山事業実施の要 望が毎年されていたが、今年7月の集中豪雨 により山腹斜面の土砂流出及び溪流内への 不安定土砂の流出が発生し、地元では土砂撤 去等の応急対策が行われた。 しかし、依然として山腹斜面及び溪流に不安 定土砂が残置し、今後の豪雨等により下方の 人家等へ甚大な被害を与える恐れが高いた め、早急に対策工事を実施する必要がある。 費用便益比 B/C=1.57>1.00	対馬市及び地元は早期の事業実施を強く 要望しており、今年度中に対馬市長から 施工願が提出される予定である。 負担割合 国:県:地元=50%:50%:00%	A	
				R2年度計画:測量試験1.0式、法枠工600m ²	45,000	22,500	20,200	2,300				
				合計				1,050,000				540,500
				295,000	153,000	127,700	14,300					
あね 阿連	対馬市 厳原町	県	R6	全体計画:治山ダム5基、測量試験1.0式 保全対象:人家17戸、2級河川、農地、県道300m、 市道1,000m	190,000	95,000	85,500	9,500	当該地区ではこれまでも治山事業実施の要 望が毎年されていたが、今年9月の台風17号 接近に伴う集中豪雨により溪流から土砂が流 出し、下方の農地及び市道に被害を与えた。 しかし、依然として溪流内に不安定土砂が残 置し、今後の豪雨等により下方の人家等へ甚 大な被害を与える恐れが高いため、早急に対 策工事を実施する必要がある。 費用便益比 B/C=2.07>1.00	対馬市及び地元は早期の事業実施を強く 要望しており、今年度中に対馬市長から 施工願が提出される予定である。 負担割合 国:県:地元=50%:50%:00%	A	
				R2年度計画:測量試験1.0式、治山ダム1基	50,000	25,000	22,500	2,500				
				合計				1,050,000				540,500
				295,000	153,000	127,700	14,300					

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	緊急予防治山事業		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	8	元気で豊かな農林水産業を育てる
	施策	(4)	地域の活力と魅力にあふれる農山村づくり
	事業群	②	農山村地域の暮らしを支える環境整備①

作成年月日	令和元年 11月 27日		
事業所管	農林部 治山班	森林整備 (内線)	室 5415
課(室)長名	永田 明広		

1. 事業の概要

事業概要	<事業の主な実施内容>												
	荒廃山地における治山ダム、土留工、補強土工等の治山施設の整備を行う。												
	<国の主な採択基準>												
	①山地災害危険地区の崩壊危険度等及び被災危険度とも最も高い評価である地区の保全 ②1、2級河川流域 ③その他の河川又は地区で、次の各号のいずれかに該当 1) 農地、ため池、用排水施設、魚場等の保護 2) 市街地又は集落(人家10戸以上)の保護 3) 主要公共施設の保護 ④工事規模 年度計画 山腹 800万円以上 溪流 1,500万円以上												
	<負担区分> (%)	<table border="1"> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>地元</th> </tr> <tr> <td>50</td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>45</td> <td></td> </tr> </table>	国	県	地元	50	50		55	45		<県費の継ぎ足し> (通常) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (火山)	
国	県	地元											
50	50												
55	45												

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の要望が高く、災害の早期復旧・未然防止が図られること。 ・投資効果が見込まれること。 ・計画内容、施設規模が経済的な計画となっていること。 ・関係機関との協議・調整が整っていること。
---------	---

3. 令和2年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	松山(まつやま)	五島市
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

令和2年度新規要求箇所評価調書(緊急予防治山事業)

<様式2>

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業主体	事業完了予定	事業概要 (上段:全体、下段:R2)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R2)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合評価
					事業費	国費	県費		市町村費等			
							県債	一般財源				
(まつやま) 松山	五島市 松山町	県	R6	全体計画:落石防護工 L=69.0m 法枠工 A=8,506.9㎡ 保全対象:人家27戸、県道200m	430,000	215,000	193,500	21,500		<ul style="list-style-type: none"> 松山地区は、田部手川左岸に位置する斜面で、現地踏査の結果人家背面斜面の急崖部に亀裂が発達し、剥離崩落や上部斜面では、岩盤上の斜面において、崩壊痕や湧水箇所、転石が確認できた。 今後、これらの現象を放置した場合、住民の生命財産に被害を及ぼす恐れが高いことから早急な対策が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年5月に地元から市に対して人家背面の山において、崩壊や亀裂があるとの陳情があり、市・地元双方より治山事業の早期の実施が強く望まれており、今年度中に市から施工願いが提出される予定である。 	A
				R2年度計画:法枠工 A=600.0㎡	35,000	17,500	15,700	1,800				
合 計					430,000	215,000	193,500	21,500		費用便益比 B/C=1.40>1.00	負担割合 国:県:地元=50%:50%:00%	
					35,000	17,500	15,700	1,800				

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	地すべり防止事業		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	8	元気で豊かな農林水産業を育てる
	施策	(4)	地域の活力と魅力にあふれる農山村づくり
	事業群	②	農山村地域の暮らしを支える環境整備①

作成年月日	令和元年 11月 27日		
事業所管	農林部 治山班	森林整備 (内線)	室 5415
課(室)長名	永田 明広		

1. 事業の概要

事業概要	<事業の主な実施内容>												
	地すべり防止区域における集水井工、暗渠ボーリング、アンカー工等の地すべり防止施設の整備を行う。												
	<国の主な採択基準>												
	①1、2級河川上流 ②その他の河川又は地区で、次の各号のいずれかに該当 1)市街地又は集落(人家10戸以上)の保護 2)主要公共施設の保護 3)農地(10ha以上)、ため池(貯水量3万m3以上)、用排水施設(関係面積100ha以上)等の保護 4)災害が発生し、又は発生するおそれがある場合の一連の避難経路等の保護 ③工事規模 全体計画 1億円以上												
	<負担区分> (%)	<table border="1"> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>地元</th> </tr> <tr> <td>50</td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	国	県	地元	50	50					<県費の継ぎ足し> <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
国	県	地元											
50	50												

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の要望が高く、地すべり活動の抑制・抑止が図られること。 ・投資効果が見込まれること。 ・計画内容、施設規模が経済的な計画となっていること。 ・関係機関との協議・調整が整っていること。
---------	---

3. 令和2年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	大瀬(おおぜ)	佐世保市
2	雇尾(やとお)	松浦市
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

令和2年度新規要求箇所評価調書(地すべり防止事業)

<様式2>

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R2)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R2)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等			
							県債	一般財源				
おおせ 大瀬	佐世保市 小佐々町	県	R7	全体計画: 集水井工5基、 アンカー工 N=95本 調査・測量・設計 1件 保全対象: 人家98戸、 事業所12件(従業員372人)	515,500	257,750	231,900	25,850		当地区は、小佐々町工業団地の背面の山腹 に位置しており、地すべりによる森林地内の集 水井の変形や、森林斜面の亀裂・陥没および 市道の押し出し等の現象が確認される。 今後の豪雨等で地すべりが発生した場合、 下方集落や工業団地へ甚大な被害が想定さ れることから、保全のため早急な対策を講じる 必要がある。	佐世保市及び地元から早期の事業 実施が強く望まれており、今年度中に 佐世保市長から施工願が提出される 予定である。	A
				R2年度計画: 集水井工 1基 調査・測量・設計 1件	84,000	42,000	37,800	4,200				
				費用便益比	B/C=8.63>1.00		負担割合	国:県:地元=50%:50%:00%				
やしろ 雇尾	松浦市 今福町	県	R7	全体計画: 集水井工(新設)7基、 集水井工(栗詰)7基、 ポーリング暗渠工 3,022.8m アンカー工 N=120本、 土留工(修繕)L=105.4m 調査・測量・設計 1件 保全対象: 人家44戸、国道L=3.2km、 松浦鉄道L=3.2km	640,000	320,000	288,000	32,000		当地区は、平成26年度をもって地すべり対策 事業の一部概成としていたが、今年7月の集中 豪雨により、森林地内の斜面および市道に亀 裂・陥没等の現象が確認された。 今後の豪雨等で地すべりが発生した場合、 下方集落や「国道204号」及び「松浦鉄道」へ 甚大な被害が想定されることから、早急な対 策を講じる必要がある。	松浦市及び地元から早期の事業実 施が強く望まれており、今年度中に松 浦市長から施工願が提出される予定 である。	A
				R2年度計画: 集水井工(新設) 2基、 集水井工(栗詰) 4基、 ポーリング暗渠工 870.0m 調査・測量・設計 1件	112,500	56,250	50,600	5,650				
				費用便益比	B/C=1.58>1.00		負担割合	国:県:地元=50%:50%:00%				
合 計					1,155,500	577,750	519,900	57,850				
					196,500	98,250	88,400	9,850				

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

〈様式1〉

評価対象事業名	山地災害重点地域総合対策事業		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	8	元気で豊かな農林水産業を育てる
	施策	(4)	地域の活力と魅力にあふれる農山村づくり
	事業群	②	農山村地域の暮らしを支える環境整備①

作成年月日	令和元年 11月 27日		
事業所管	農林 治山	部 班 (内線)	森林整備 室 5415
課(室)長名	永田 明広		

1. 事業の概要

事業概要	<p><事業の主な実施内容></p> <p>山地災害重点地域調査(山地災害危険地区の密集地において、崩壊地や崩壊の恐れのある箇所を分析し、工事計画を策定するための調査) 上記調査に基づき治山ダム、土留工、法枠工等の治山施設の整備を行う。</p>															
	<p><国の主な採択基準></p> <p>山地災害危険地区に指定され、かつ地域住民に周知されている地区で次の①または②に該当するもの。</p> <p>①1、2級河川流域 ②その他の河川又は地区で、次の各号のいずれかに該当</p> <p>1) 農地、ため池、用排水施設、魚場等の保護 2) 市街地又は集落(人家10戸以上)の保護 3) 主要公共施設の保護</p> <p>③工事規模 全体計画 2億円以上</p>															
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;"><負担区分></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">県</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地元</td> <td style="padding-left: 20px;"><県費の継ぎ足し></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(%)</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">50</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">50</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="padding-left: 20px;">(通常) <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">55</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">45</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="padding-left: 20px;">(火山)</td> </tr> </table>	<負担区分>	国	県	地元	<県費の継ぎ足し>	(%)	50	50		(通常) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		55	45		(火山)
<負担区分>	国	県	地元	<県費の継ぎ足し>												
(%)	50	50		(通常) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無												
	55	45		(火山)												

3. 令和2年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	県北北部(野子) けんほくほくぶ (のこ)	平戸市
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の要望が高く、災害の早期復旧・未然防止が図られること。 ・投資効果が見込まれること。 ・計画内容、施設規模が経済的な計画となっていること。 ・関係機関との協議・調整が整っていること。
---------	---

令和2年度新規要求箇所評価調書(山地災害重点地域総合対策事業)

<様式2>

(ふりがな) 事業箇所名	市町村 名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R2)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R2)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等			
							県債	一般財源				
はんほくほくぶ 県北北部 のこ (野子)	平戸市	県	R3	全体計画:治山ダム工1基(V=573.4m ³)、 流路工 L=35.5m、森林整備 A=0.2ha 保全対象:人家104戸、県道200m、小学校1	85,100	46,805	34,400	3,895		当該地区は今年7月の集中豪雨により溪流 から土砂が流出し、下流の市道が被災した箇 所である。 幸いにも人的被害はなかったが、下流には 平戸市宮の浦地区へ繋がる県道があり、この 県道が被災すれば集落が孤立するため、早急 に対策工事を実施する必要がある。	平戸市及び地元から早期の事業実 施が強く望まれており、今年度中に平 戸市長から施工願が提出される予定 である。	A
				R2年度計画:治山ダム工 1基(V=573.4m ³)	40,000	22,000	16,200	1,800				
合計					85,100	46,805	34,400	3,895	0	費用便益比 B/C=1.07>1.00	負担割合 国:県:地元=55%:45%:00%	
					40,000	22,000	16,200	1,800	0			

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	森林環境保全整備事業(林業専用道等整備事業)		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	8	元気で豊かな農林水産業を育てる
	施策	(3)	農林業の収益性に向けた生産・流通・販売対策の強化
	事業群	(4)	担い手確保のための生産基盤の整備

作成年月日	令和元年 11月 27日		
事業所管	農林部 森林整備班	部 班	森林整備室 (内線) 5412
課(室)長名	永田 明広		

1. 事業の概要

事業概要	<p><事業の主な実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な林業経営の実現に向けて、丈夫で簡易な、使いやすい道である林業専用道を開設する。 ・林業専用道は、基幹となる道路から、作業道を繋ぐ補完的な役割を担うもので、10t積程度のトラックが走行可能な構造であり、林道とは異なり必要最小限の規格、構造を有する道として位置づけられる。 												
	<p><国の主な採択基準></p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域森林計画に掲載された林道・専用道であること ②長崎県林業専用道作設指針に適合すること ③開設効果指数が0.9以上 ④直接利用区域10ha以上 ⑤全体計画延長0.2km以上 ⑥完成年度以内に経営計画区域内で間伐等の実施が確実であること 												
	<p><負担区分></p> <table border="1"> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>地元</th> </tr> <tr> <td>45</td> <td>10</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>10</td> <td>40</td> </tr> </table> <p>(%)</p>	国	県	地元	45	10	45	50	10	40		<p><県費の継ぎ足し></p> <p><input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</p>	
国	県	地元											
45	10	45											
50	10	40											

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の要望が高いもの。 ・「木材生産の経費縮減」や「森林整備経費の縮減」等、投資効果が見込まれること。 ・森林経営計画の策定されていること。 ・関係機関との協議・調整が整っていること。
---------	--

3. 令和2年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	ザレガシ線	五島市
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

令和2年度新規要求箇所評価調書(林業専用道整備事業)

<様式2>

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R2)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R2)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等			
							県債	一般財源				
ザレガン線	五島市	市	R6	林業専用道の開設工事 全体開設延長 3,000m 幅員 3.5m	180,000	90,000		18,000	72,000	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、「地域材供給倍増協議会」を設立し、県産材の供給能力の向上に取り組んでいる。 ・この取り組みの実行のため、材の搬出に特化した林業専用道の整備が急務である。 ・当該路線の利用区域内には、 森林面積:116ha (うち 人工林92ha 人工林率79%) と利用資源が充実している。 ・区域内の人工林のうち約9割が市有林であるが、当該施業地までのアクセス道が無く、昭和61年の保育間伐が最後の施業となっているため、林業専用道を整備し早急に間伐を実施していく必要がある。 	<p>当該地域には、開設済の「林業専用道籠淵線」及び本事業起点に開設中の「林業専用道内閣線」があり、森林所有者からは森林整備及び木材生産促進のため、五島市と連携し長期的に利用可能な基盤整備と高性能林業機械を導入した森林整備を進めてほしいと強く要望されている。</p> <p>五島市長からは平成31年1月28日に要望書が提出されている。</p>	A
				R2年度計画 測量設計業務 1式	30,000	15,000		3,000	12,000			
合 計					180,000	90,000		18,000	72,000	費用便益比 B/C=2.31>1.00 負担割合 国:県:地元=50%:10%:40%		
					30,000	15,000		3,000	12,000			

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	海岸防災林造成事業		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	8	元気で豊かな農林水産業を育てる
	施策	(4)	地域の活力と魅力にあふれる農山村づくり
	事業群	②	農山村地域の暮らしを支える環境整備①

作成年月日	令和元年 11月 27日		
事業所管	農林部 治山班	森林整備 (内線)	室 5415
課(室)長名	永田 明広		

1. 事業の概要

事業概要	<事業の主な実施内容> 風倒木、風浪、マツクイムシ被害等により機能が失われた又は低下する恐れがある森林について、植栽及び本数調整伐等の森林整備を実施する。											
	<国の主な採択基準> ①市街地又は集落(10戸以上)の保護 ②主要公共施設の保護 ③農地(林帯延長100mにつき後方2ha以上)、ため池、用排水施設等の保護 ④工事規模 (1)年度計画 500万円以上											
	<負担区分> (%)	<table border="1"> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>地元</th> </tr> <tr> <td>50</td> <td>43</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>45</td> <td>5</td> </tr> </table>	国	県	地元	50	43	7	50	45	5	<県費の継ぎ足し> <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (内地) (離島)
国	県	地元										
50	43	7										
50	45	5										

3. 令和2年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	小値賀(おぢか)	小値賀町
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の要望が高く、防災林の保全・造成が図られること。 ・投資効果が見込まれること。 ・計画内容、施設規模が経済的な計画となっていること。 ・関係機関との協議・調整が整っていること。
---------	--

令和2年度新規要求箇所評価調書(海岸防災林造成事業)

<様式2>

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R2)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R2)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等			
							県債	一般財源				
おろか 小値賀	小値賀町	県	R6	全体計画:森林整備A=88.4ha 本数調整伐A=21.9ha、除伐A=63.5ha、 植栽A=21.3ha、地拵えA=21.3ha 保全対象:人家45戸、田畑A=58ha	190,000	95,000	76,900	8,600	9,500	小値賀町は、松林主体の森林地区であるが、ここ数年松の枯損により森林が荒廃しており、特に昨年度から今年度にかけて顕著な被害が発生している。 このまま放置した場合、主要産業である農水畜産業に被害を及ぼす恐れがあることから、早急に当該事業を実施し、森林の再生及び地域住民の安全・安心を確保する必要がある。	小値賀町及び地元住民から早期対応の要望を受けている。 小値賀町としても、松林保全対策検討会を立ち上げ有識者から意見を聞くなど、松林、森林の再生に積極的関わっている。	A
				R2年度計画:森林整備A=5.5ha、除伐A=5.5ha、 植栽A=1.7ha、地拵えA=1.7ha	30,000	15,000	12,100	1,400	1,500			
				費用便益比		B/C=11.15>1.00		負担割合 国:県:地元=50%:45%:5%				
合計					190,000	95,000	76,900	8,600	9,500			
					30,000	15,000	12,100	1,400	1,500			